

特定非営利活動法人 日本免疫学会
平成 27 年前期 Tadamitsu Kishimoto International Travel Award
研究発表報告書

申請者氏名	飯塚 麻菜	会員番号	31610
申請者の 所属・職名	筑波大学 医学医療系内科（膠原病・リウマチアレルギー） 助教		
出席会議名	The 13th International Symposium on Sjögren's Syndrome		
発表論文 タイトル	A pathological role of ROR γ t in the development of sialadenitis like Sjögren's syndrome		

実施結果:

この度は、Tadamitsu Kishimoto International Travel Award を賜り、誠にありがとうございます。
岸本忠三先生、選考委員の先生方、また本賞に推薦して頂きました住田孝之先生に深謝いたします。

本 Award によるご支援のもと、2015 年 5 月にノルウェーで開催された The 13th International Symposium on Sjögren's Syndrome に参加し、ポスター発表を行いました。

本学会は、シェーグレン症候群の発症機序、病態解析および治療における研究成果を報告する世界最大の学術集会です。研究者だけではなく、病院関係者や患者さんなど多くの方が参加します。私は、シェーグレン症候群様病態を自然発症するモデルマウスの解析について発表しました。シェーグレン症候群は、唾液腺や涙腺を標的とする臓器特異的な自己免疫疾患ですが、その発症機序については十分に解明されていません。私たちが解析した T 細胞特異的に ROR γ t を過剰発現させたトランスジェニックマウスは、病態の進展がシェーグレン症候群に類似することから、本モデルマウスを用いた解析により、臓器特異的自己免疫疾患の病因解明に繋がることが期待されます。ポスターセッションにおいては、臨床への応用に関する質問があり、実際に治療に役立てるための重要性についても議論することができました。

海外の研究者との交流を通して、世界における自身の研究の位置付けおよび意義についても再認識することができました。この学会を通じて得られた経験を活かし、今後の研究をより発展させたいと思います。